

会長のページ 2020年九医連宮崎への対応	河野 雅行	3
日州医談 求められる産業医・産業保健体制の見直し	佐々木幸二	4
エコー・リレー (524)	鍋倉 弘樹, 菊池 有紀	6
宮崎グルメ探訪 No.7 料亭 四季乃	稲倉 琢也	7
メディアの目 忘れられない少年のこと	森 将仁	10
宮崎大学医学部だより (解剖学講座 超微形態科学分野)	澤口 朗	14
専門分科医会だより (精神科医会)	吉田 建世	15
診療メモ 僧帽弁逆流症に対する新たなカテーテル治療 ～MitraClipによる経皮的僧帽弁接合不全修復術～	木村 俊之	44
宮大医学部学生のページ 国試対策委員会の活動と第113回医師国家試験について	唐澤 賢祥・泉 摩依・山本 麻由・馬淵 大輝	46

宮崎県感染症発生動向		8
あなたできますか? (平成29年度医師国家試験問題より)		11
各都市医師会だより		12
日医インターネットニュースから		16
医師国保組合だより		20
ベストセラー		22
理事会日誌		24
県医の動き		29
会員の異動・変更報告		30
ドクターバンク情報		31
行事予定		37
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		39
あ と が き		50

お知らせ 宮崎県医師会諸会費について		18
医師資格証を持ちましょう		23
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています		35
宮崎県医療勤務環境改善支援センター		43
郡市医師会への送付文書		48

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：写真〕

かわいいミーちゃん

「かわいいミーちゃん」はわが家のスーパースターです。ミーちゃんを主体として一日がスタートします。

毎日食事を用意しています。食欲、今日の御機嫌もいつも留意しながら、また一緒に遊んでいます。

一日が猫中心の毎日です。かわいいの一言です。

さか い かず ひこ
都城市 酒 井 和 彦

会長のページ

2020年九医連宮崎への対応

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

2020年6月に佐賀県よりの申し継ぎを受けて7月より第120回九州医師会連合担当県となります。1年間の期間中に各県会長による常任委員会を6～7回、各県役員による各種協議会（地域医療、医療保険、介護保険、事故調等々）を数回おこない、11月に最大イベントの総会、医学会（特別講演、各分科医会）並びに各種行事（ゴルフ、サッカー、マラソン、囲碁等）を開催します。その他災害救急、学校医、事故調等の会合を主催し、九州ブロック日医代議員協議会や年2回の日医代議員会当日の取りまとめ等々を行います。2021年6月に次期担当の沖縄県へ事業・会計の申し送りを済ませて終了です。1年間息つく暇もない程の日程を組まなければなりません。日程、講師選定・依頼、予算、会場確保、交通・ホテル予約（宿泊、料理）、アトラクション打合せ、来賓対応等々を網羅した通年から当日に至るまでの細かなスケジュール作成が必要です。何よりも充分な広さの会場確保が必要なので、既に日程と会場は予約しました。今後は詰めに入ります。

九州医師会連合会の開催は、明治25年熊本からで、途中戦争等で中止もありましたが現在まで続いています。宮崎開催は大正6年第22回（中元寺会長）が最初で、以後昭和3年32回（綾部）、16年42回（杉田）、28年53回（川島）、40年65回（前田）、48年73回（原田）、55年80回（黒水）、昭和56年からは沖縄県も加わり8年毎の定期担当となります。63年88回（竹内）、平成8年96回（福永）、16年104回（秦）、24年112回（稲倉）と続きます。私は秦会長、稲倉会長の下で経験させていただきましたが、両回とも会長を始めスタッフの努力により盛会・成功でした。担当県では数年前から周到に企画・準備し、期間中も齟齬が生じないように細心の気を配る必要がありますので相当なプレッシャーであるらしく、終了後には異口同音に安堵の声をあげられます。何しろ1年間の長丁場です。前担当県に劣らぬ内容を企画し各県の特徴を出した工夫が見られます。特に特別講演講師の選定やアトラクション等は苦勞されているようです。宮崎県では他県と競う愚は避けて、宮崎らしさを出し且つ印象に残る企画はないかと役・職員一同頭を悩ませています。これは九医連会議のみではなく、宮崎でも様々な学会が開催され、担当者は学会運営の他に前夜祭や懇親会にもご苦勞されているようです。県外からの参加者をおもてなしするのに、先生方で何か良いアドバイスがございましたれば是非いただきたい。しかし、何よりも最高のおもてなしは、一人でも多くの県内会員のご参加に勝るものではありません。総会、各分科医会、記念行事等へのご参加をよろしく願います。

(平成31年3月18日)

日州医談



求められる産業医・産業保健体制の見直し

常任理事 ささき こうじ
佐々木 幸 二

産業革命が人類に与えた功績、技術革新、生産力の飛躍的な向上、資本の確立等は光であり、一方、労働災害、心の問題は影であった。明治時代、国策であった殖産興業の製糸場で多くの娘達が過重労働で倒れたが、その様子が映画『あゝ野麦峠』からも垣間見ることができる。高木兼寛や北里柴三郎とも所縁のある大日本私立衛生会は、長時間労働の健康への悪影響を認識していた。

1713年に出版されたラマツィーニの著書「働く人の病気」にはすでに、多くの職業病についての記述があり、鉛、水銀などの有害性も認識されていたし、鉱山労働者における塵肺らしき記載がある。当時は衛生水準も低く、脆弱な災害対策のまま産業革命は進んだ。アセスメントからマネジメントに至る労働衛生管理体制が成熟していなかったといえる。その後、大正、昭和、平成と産業医学は様々な労働者の健康障害を対象にし、影にメスを入れつつ進展してきた。労働衛生の3管理等を主な業務とし、工場医、衛生管理医、産業医が工場法、労働基準法、労働安全衛生法（以下、安衛法）、じん肺法等で定められた産業保健体制の下で、数々の職業性疾病へ対応し、役割を果たしてきた。そして労働衛生マネジメントシステムも導入された。

精神障害例が労災認定

ヘーゲルは、1807年に出版した「精神現象学」のなかで、産業革命を起点として生じた「人間疎外」の問題をすでに提起している。1938年公開のチャップリン映画『モダン・タイムス』にも風刺された。「産業革命による精神障害」は、一部の専門家の話題であって、一

般には影の中であった。目に見えない客観性の乏しい傷病である心の病は、労災と言えるものではなかった。精神障害例がわが国で労災認定されたのは1984年が初めてである。近年若者のメンタルヘルス不調が増加しているが、更なる第4次産業革命により映画『アイ、ロボット』や『A.I.』に見るような世界の到来で、新たな影としての産業保健問題が憂慮される。

人口増加から人口減少へ

人口爆発の原因となった産業革命による生産性増加の中で、産業社会は確実に成長し、次世代の若者が保障してくれた。第1～2次産業から第3～4次産業への産業構造の移行が進む中で、増加した人口は産業の構造変化、人の生活様式、環境の変化その他諸々の原因で出生率が減り、現在減少の一途をたどり、大きな社会問題となっている。

心の問題が顕在化

社会保障の揺らぎ、経済成長率の低下、定期健診の有所見率増加、また労働者の高齢化、癌などの疾病を抱える労働者の増加、長時間労働等ストレス過多の社会の中で、脳・心疾患のリスクは増え、先に述べたように近代産業発展の影の部分であったうつ病などの心の問題が顕在化してきた。そして、“3年前に社会的注目を集めた過労死自殺”が一大転機となった。産業医は配置されていたが機能してなかったという。

働き方改革

これらの対策として政府は、希望を生み出す強い経済、夢をつむぐ子育て支援、安心につながる社会保障の3つの目的に向かって1億

総活躍の旗を高く掲げて、働き方改革の挑戦をしていく方針をたて、平成29年3月28日に13の項目からなる働き方改革実行計画が決定された。産業保健の範囲は4.「長時間労働の是正」と7.「病気の治療と仕事の両立」で、7.の3)に「産業医・産業保健機能の強化」が求められた。

また平成30年4月よりスタートした「第13次労働災害防止計画」では、過労死の防止や疾病を抱える労働者の健康確保、メンタルヘルス不調への対策が重点事項として挙げられている。

産業医・産業保健機能の強化

平成30年6月整備された働き方改革関連法のうち安衛法やじん肺法で産業医・産業保健機能の強化が焦点になり、その改正の趣旨は健康リスクが高い状況にある労働者を見逃さないため、産業医の知識・能力の維持向上、産業保健機能を強化するとともに、産業医の独立性や中立性を高めるなど産業医の在り方の見直しである。また面接指導や健康相談が確実に実施されるよう、メンタルヘルス対策の強化も求められている。

産業医に関して、(1)職務の追加、(2)知識・能力の維持向上、(3)権限の具体化、(4)独立性・中立性の強化、(5)辞任または解任時の安全衛生委員会等への報告について、(6)事業者からの情報の提供について、(7)勧告時の事業者に対する意見の求め及び勧告の内容等の保存、(8)勧告時の衛生委員会等への報告、(9)労働者からの健康相談に適切に対応するために必要な体制の整備等、(10)産業医の業務の内容等の周知、(11)労働者の心身の状態に関する情報の取扱い、(12)安全委員会、衛生委員会等の意見等の記録・保存、(13)衛生委員会等に対する調査審議の求め、(14)罰則等がある。

面接指導等に関しては、

(1)医師による面接指導の対象となる労働者の要件、(2)労働者への労働時間に関する情報の通知、(3)研究開発業務に従事する労働者に対する医師による面接指導、(4)労働時間の状況の把握等がある。これらの施行期日は、今年4月1日である。

産業医制度の在り方に関する検討会

昭和47年に安衛法の成立以来、40数年間、産業医制度など大きな見直しをしてこなかった。より時代に即した産業医あるいは産業保健制度のあり方というのを検討する必要があるということで、厚生労働省の「産業医制度の在り方に関する検討会」が、北里大学名誉教授の相澤先生を座長として平成27年9月に設置された。

安衛法における産業医のあり方の位置づけや役割を見直し、産業医に求められる職務を、1.産業医が行うべき業務、2.産業医が行うことが最も適切な業務、3.産業保健スタッフや外部機関の協力を得て産業医の業務負担が軽減できる業務、4.事業者が産業医に期待する業務、5.産業医の職務でないもの、に分け、限られた時間で遂行するために優先順位の高い職務を重点的に実施することが望ましいとした。フランスの産業医制度を見本にしては、という意見も上がった。

産業医の組織化へ向けて

産業医は、(1)作業環境管理、(2)作業管理、(3)健康管理、など有害業務への対応を主な仕事としてきたが、先に述べた経緯により近年、ストレスチェック、長時間労働の是正、病気の治療と仕事の両立支援といった職務の多様化・高度化が進み、産業医の負担軽減のため多職種との連携も必要になってきた。新たな法改正の下で、独立性・中立性を強化し、医学に関する知識に基づいて誠実にその職務を行うよう求められることとなった。さらに、産業医は、事業者からの要請に対応できるよう取り交わす契約書も新たに改定しなければならない。現在、日本医師会（日医）は産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制づくりに向け、日医を本部とする「組織化」を検討している。今期の日医会長諮問は『産業医の組織化に向けた具体的方策について～産業医のスキルアップと活動支援～』で、日医産業保健委員会で審議中である。また、4月4日開催の都道府県担当理事連絡協議会でも協議予定である。

エコー・リレー

(524回)

(南から北へ北から南へ)

脂肪細胞とBMIと私

宮崎市 宮崎大学医学部 研修医 なべ くら ひろ き
鍋 倉 弘 樹

「脂肪細胞」と聞いて、皆さん何を思い浮かべられるでしょうか。

「お腹周りについている憎いやつ」、「術野の邪魔者」、「万病の元」等いいイメージを持たれる方は少ないと思

います。

私は脂肪細胞が大好きです。

脂肪細胞には大きく分けて2種類あります。1つは一般的な脂肪を指す白色脂肪細胞、もう1つは褐色脂肪細胞です。両者は脂肪の貯蔵と消費という相反する働きを持っています。

私と脂肪細胞の出会いは学生時代でした。通っていた研究室で「ウサギES/iPS細胞を褐色脂肪細胞に分化誘導する」というテーマをいただいたのがきっかけです。「脂肪細胞が脂肪を減らす働きを持つなんて、面白い細胞だ」と熱中しました。晴れの日も雨の日も、盆も正月も、試験期間でも再試期間でも私の半生で一番と言っていいくらい研究に没頭していました。脂肪細胞を観察していると徐々に多房性の脂肪滴を含むようになり、Oil Red O染色で赤く染まり、ミトコンドリア染色でカラフルに染まります。この形態も非常に可愛らしいのです。

結果的にこの研究はあまり上手くいきませんが、私の心に脂肪細胞愛を残していきました。

当面の課題に褐色脂肪細胞は褐色細胞腫と間違われる頻度が高い(体感で7割弱)ので認知度を高めていくことと、BMI27と私の体にまとわり付いた白色脂肪細胞の駆逐を挙げ、

「今後も脂肪細胞の研究で暮らしていきたい」と思う今日このごろです。

[次回は、延岡市の北國 秀治先生をお願いします]

小学校のPTA活動について

宮崎市 宮崎善仁会病院 きく ち ゆ き
菊 池 有 紀

今回、エコー・リレーが友人から回ってきまして、はて?何を題材にしようかしら…とフリーズしてしまいました。普段の生活を題材にした方が書きやすいな~と考えついた末にたどり着いた題材が小学校のPTA活動についてでした。

本年度、私は息子の小学校のPTA本部役員をうっかり引き受けてしまい、書記として活動してきました。軽い気持ちで引き受けてしまったのですが、PTA活動がこんなに多岐に渡り、忙しいものかとただただ驚くばかりで、会長をはじめとする他の役員の方々のボランティア精神に頭が下がる思いでした。

まずは、年度初めのPTA総会の準備。右も左もわからず夜遅くまで資料作成を行いました。今までは総会には出ていましたが、隣のママ友とおしゃべりをしていて、早く終わらないかな~とばかり思っていたのですが、こんなに人の手が加わっているのかと思うと、申し訳ない気持ちで一杯になりました。

学校の行事にはほぼ全部お手伝いとして参加するのは理解していましたが、地域・まちづくりのイベント・講演会への出席、そしてやたらと多いミニバレー大会…どれも参加するととても楽しく、ミニバレーをしているときは学生時代に戻ったかのような錯覚におちいりました。

医療の世界しか知らなかった私にとっては、校長先生をはじめとする先生方、異業種のママ友、パパ友ができ、とても有意義な経験となりました。

PTAなんていない!という声もありますが、私はありだ!と思います。

[次回は、日向市の丸田 望先生をお願いします]

宮崎グルメ探訪 No.7



料亭 四季乃

宮崎市 稲倉医院 ^{いな}稲 ^{くら}倉 ^{たく}琢 ^や也

人気コーナーのわりに投稿がないということで、広報委員として2度目の投稿をさせていただきました。シーガイアコンベンションセンター3階にある料亭 四季乃です。宮崎にもいくつか料亭がありますが、サービス、雰囲気、味、どれをとっても頭一つ抜けている存在だと思います。建物は純和風の数寄屋造り、庭園に沿って大小の個室が点在しています。個人での利用もいいのですが、結納、七五三等の祝事、法事、親戚や友人との会食での利用が特におすすめです。お決まりの会席コースもありますが、

ある程度の人数が集まれば、予算と希望の食材等を事前に相談してオリジナルのコースもつくってくれますし、料理人が山海の旬の素材を目の前で揚げるお座敷天ぷらや目の前で握るお座敷鮨にも対応してくれます。値段が気になるかもしれませんが、夜の会席コースで大人一人あたり8,000円程度、お座敷天ぷらでも10,000円程度と料亭としてはコストパフォーマンスも良です。料理人や仲居さんのサービスも細かく行き届いており、最初から最後まで気持ちの良い時間が過ごせます。



「宮崎グルメ探訪」原稿募集

原稿文字数：600～800字程度

写真：執筆者顔写真 その他料理等の写真
(掲載は白黒)も2枚程掲載できます。

原稿送付先：宮崎県医師会 広報委員会 宛
〒880-0023

宮崎市和知川原1-101
FAX 0985-27-6550
TEL 0985-22-5118

メール genko@miyazaki.med.or.jp

宮崎県感染症発生動向 ～2月～

平成31年2月4日～平成31年3月3日（第6週～第9週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核13例（男性4例・女性9例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：報告なし。

4類：○チクングニア熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代男性で，主な症状として発熱，関節痛，発疹，全身倦怠感，頭痛，筋肉痛，リンパ節腫脹がみられた。フィリピンへの渡航歴があった。

5類：○アメーバ赤痢1例：延岡保健所管内から報告があった。

40歳代男性で，病型は腸管アメーバ症である。主な症状として粘血便がみられた。

- カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。80歳代男性で，主な症状として肺炎がみられた。
- 侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代男性で，主な症状として全身倦怠感，意識障害，肺炎がみられた。ワクチン接種歴はなかった。
- 破傷風1例：日南保健所管内から報告があった。80歳代男性で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害がみられた。ワクチン接種歴はなかった。
- 百日咳27例（男性12例・女性15例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりである。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタックート，ウープがみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（25例），無（1例），不明（1例）である。

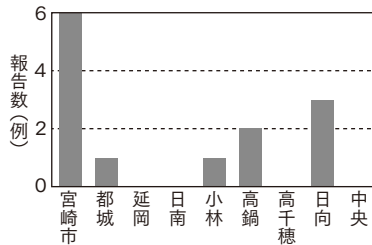


図1 結核 保健所別報告数

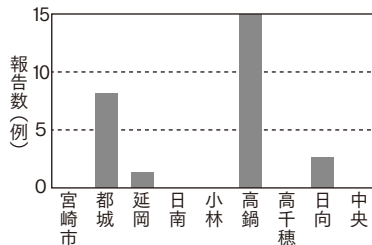


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核 (粟粒結核, 結核性胸膜炎, 結核性心膜炎)	3
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	2
40歳代	2
60歳代	1
70歳代	4
80歳代	2
90歳代	2

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	3
5～9歳	10
10歳代	14

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は6,508人（定点あたり146.6）で，前月の約46％，例年の64％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で，減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎及び流行性角結膜炎である。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘及び伝染性紅斑である。

インフルエンザの報告数は4,129人（71.0）で前月の約0.3倍，例年の約0.5倍である。高千穂（111.0），都城（88.2），中央（80.1）保健所からの報告が多く，10歳未満が全体の約6割を占めている。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	インフルエンザウイルスAH3	8
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	6
	チクングニアウイルス	1
細菌	EPEC (OUT : HUT)	1
	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	4
	<i>Salmonella</i> 属菌 (血清型不明)	1

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は471人(13.1)で前月の約1.1倍、例年の約1.4倍である。延岡(24.8)、高鍋(18.5)、小林(17.7)保健所からの報告が多く、3～6歳が全体の約6割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は104人(2.9)で前月の約0.7倍、例年の約1.7倍である。日南(11.0)、宮崎市(4.4)保健所からの報告が多く、3～6歳が全体の約6割を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向 (2019年2月)

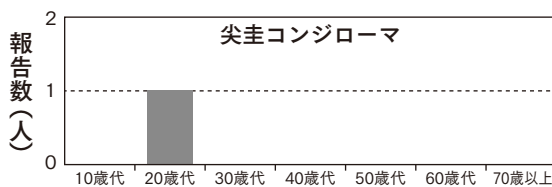
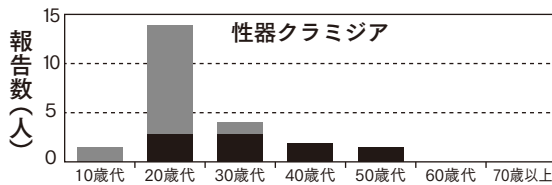
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、昨年2月(1.8)の135%である。

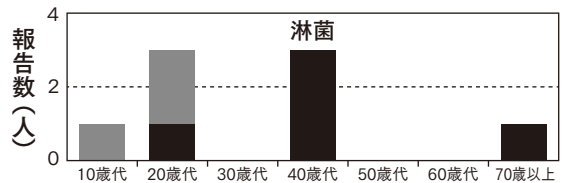
《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約1.5倍、昨年2月の約1.6倍である。20歳代が全体の約6割を占めている。(男性9人・女性13人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告なし。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年2月と同率である。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約0.7倍、昨年2月の4倍である。(男性5人・女性3人)



	2019年2月		2019年1月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	4,129	71.0	12,521	215.9	
RSウイルス感染症	49	1.4	48	1.3	
咽頭結膜熱	96	2.7	122	3.4	
※溶レン菌咽頭炎	471	13.1	431	12.0	★
感染性胃腸炎	1,411	39.2	1,975	54.9	
水痘	58	1.6	112	3.1	★
手足口病	19	0.5	31	0.9	
伝染性紅斑	104	2.9	142	3.9	★
突発性発しん	85	2.4	96	2.7	
ヘルパンギーナ	5	0.1	10	0.3	
流行性耳下腺炎	12	0.3	18	0.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	64	10.7	136	22.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.7	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は10人(1.4)で、前月比71%と減少した。また、昨年2月(2.6)の56%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数10人(1.4)で、前月及び昨年2月の約0.7倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

メディアの目



忘れられない少年のこと

NHK宮崎放送局 放送部長
もり まさ ひと
森 将 仁

東日本大震災から8年が過ぎました。私は以前、東京で震災関連番組を作っていました。震災の証言記録、避難所や仮設住宅の課題、癒えることのない心の傷、原発避難者の苦悩など、番組の数は約200本に及びます。今回はその中からみなさんに知っていただきたいエピソードを紹介します。

「忘れられない少年」と書きましたが、私は彼に会ったことはありません。工藤^{もりと}盛人さん、17歳。福島県いわき市の高校生です。写真を見ると眉を今風にシュッと細めていて、やんちゃな感じですが。この文章に出てくる介護士さんも「風貌が風貌なのであの時、手伝ってくれるとは思わなかった」と証言しています。この盛人さん、地震から津波までの45分間で5人の命を救ったのです。

盛人さんが住んでいたのは海岸沿いの住宅地です。地震発生時、両親は仕事で外出。自宅に一人でいた盛人さんは、すぐに外へ出ます。そこでたまたま出会った後輩の女子高生に「津波が来るから高台に逃げろ」と伝えます。女子高生は「津波なんて」と半信半疑だったのですが、盛人さんの表情がいつになく真剣だったので高台に避難し、無事でした。

そのあと盛人さんが走って向かったのは、海岸のすぐ近くにあった祖父母の家です。しかしその家にたどり着く前に、寝たきりのお年寄り

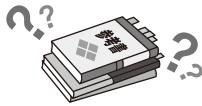
を布団ごと運ぼうとしている3人と出会います。訪問介護でたまたまこの地区に来た介護士たちで「どこへ避難して良いのか分からない」と言います。盛人さんはお年寄りを運ぶのを手伝いながら、老人と介護士を高台のホテルまで案内します。この4人も無事でした。

その後、盛人さんは再び祖父母を助けに行くと言います。一緒に避難した介護士が必死に止めるのですが、盛人さんは「ばあちゃんは足が悪いから逃げられない。俺は足が速いから大丈夫」と海岸方向へ走り去りました。この地区を巨大な津波が襲ったのは、その直後のことです。盛人さんと祖父母は還らぬ人となりました。

震災後、盛人さんの両親の元に女子高生、介護士たちが盛人さんの最期と感謝を伝えに来ました。その中にある消防団員の姿がありました。「がれきの中から見つけた」と消防団員が手渡したのは、生前、盛人さんが救命救急講習を受講した時の証書でした。両親が知らなかった盛人さんの行動が、次々と明らかになったのです。

みなさんはこの話、どうお感じになりますか？

宮崎県も南海トラフ巨大地震による津波の恐れがあります。その時、どう行動するか？どこに避難するか？今晚、ご家族で話し合わせてみてはいかがでしょうか？



あなたできますか？

—平成 29 年度 医師国家試験問題より—

(解答は22ページ)

- 無症候性骨転移を伴う前立腺癌にまず行う治療はどれか。
 - PDE 5 (phosphodiesterase5) 阻害薬投与
 - 抗癌化学療法
 - ホルモン療法
 - 経尿道的レーザー前立腺切除術
 - ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術
- 67歳の女性。不眠を主訴に来院した。1か月前から夜になると両足に虫が這うような不快な感覚を自覚していた。この不快感は一安静にしてると増強するが、足を動かすことで軽減する。かかりつけ医からは経過をみるように言われたが良くなりず、足を動かしたい欲求が強く寝つけなくなり受診した。四肢の筋トーンは正常で筋力低下を認めない。腱反射は正常で、Babinski徴候は陰性である。感覚障害と小脳性運動失調とを認めない。歩行に支障はなく、日常生活動作にも問題はない。血液生化学検査では血清フェリチンを含めて異常を認めない。適切な治療薬はどれか。
 - β 遮断薬
 - 筋弛緩薬
 - 抗コリン薬
 - ドパミン受容体作動薬
 - アセチルコリンエステラーゼ阻害薬
- 標準予防策 (standard precautions) について正しいのはどれか。
 - 患者を隔離する。
 - 医療者の手指衛生を徹底する。
 - 感染症と診断してから開始する。
 - 感染症の治療が済んだら終了する。
 - 特定の感染症への対策として実施する。
- WHOの活動について正しいのはどれか。
 - 識字率を向上させる。
 - たばこ規制を推進する。
 - 食糧を安定的に供給する。
 - 温室効果ガスの削減を行う。
 - 労働者の作業環境を改善させる。
- 二次医療圏について正しいのはどれか。
 - 都道府県が定める。
 - 特定機能病院を設置する。
 - ドクターヘリを配備する。
 - 地域保健法によって規定される。
 - 人口30万人を基準として設定される。
- 78歳の女性。夕食後に腹痛が出現し、次第に増強したため救急車で搬入された。43歳時に卵巣腫瘍摘出術を受けている。体温 38.0°C 。心拍数120/分、整。血圧116/66mmHg。SpO₂98% (鼻カニューラ1L/分 酸素投与下)。腹部は膨隆し、下腹部に圧痛と筋性防御とを認めた。腹部造影CTで絞扼性イレウス及び汎発性腹膜炎と診断され、緊急手術を行うことになった。手術室入室後、体温 38.0°C 。心拍数124/分、整。血圧90/54mmHg。SpO₂100% (マスク6L/分 酸素投与下)。麻酔導入は、酸素マスクによって十分な酸素化を行いつつ、静脈麻酔薬と筋弛緩薬とを投与後、陽圧換気を行わずに輪状軟骨圧迫を併用し迅速に気管挿管を行う迅速導入とした。

下線に示すような麻酔導入を行う目的はどれか。

 - 誤嚥の防止
 - 気胸の予防
 - 舌根沈下の予防
 - 声帯損傷の回避
 - 食道への誤挿管の回避
- 胸膜中皮腫について正しいのはどれか。
 - 良性腫瘍である。
 - 上皮型が最も多い。
 - 両側に病変を認めることが多い。
 - 珪酸 (ケイ酸) 曝露との関連性が認められる。
 - 我が国での年間死亡者数は1万を超える。
- 労働形態と健康障害の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

a	重量物取扱い作業	職業性頸肩腕障害
b	食品冷凍作業	網膜損傷
c	中腰作業	職業性腰痛
d	振動工具作業	Raynaud現象
e	VDT作業	白内障
- 日齢24の新生児。嘔吐を主訴に両親に連れられて来院した。10日前から哺乳後の嘔吐を時々認めていたが、2日前から哺乳のたびに噴水状の嘔吐を認めるようになった。活気は不良である。体重3,848g (日齢9では3,882g)。体温 36.7°C 。心拍数128/分。血圧94/58mmHg。呼吸数28/分。毛細血管再充満時間は3秒と延長している。四肢末梢に軽度冷感を認める。皮膚のツルゴールは低下している。大泉門はやや陥凹。咽頭発赤を認めない。胸部に異常を認めない。腹部は軽度膨張しており、右上腹部に径1.5cmの腫瘍を触知する。

患児の腹部超音波検査で認められる所見はどれか。

 - 腸管の拡張
 - 腸管壁の浮腫
 - 幽門筋層の肥厚
 - 肝内の充実性腫瘍
 - 総胆管の囊腫状変化

各郡市医師会だより

西白杵郡医師会

西白杵圏域（高千穂町，日之影町，五ヶ瀬町）の高齢化率は40.2%と高齢化が進んでおり，医療と介護の連携推進は重要な課題となっています。西白杵圏域では高千穂保健所，行政が主体となり昨年度より，介護，福祉，医療機関関係者との協議を重ね，入退院支援のための調整のルールブックが作成され，今年度より運用が開始されます。ルールの内容は介護を必要とする方が，入退院に際して必要な介護サービスの相談ができ，安心して在宅へ戻ることができるよう，医療機関とケアマネ等が情報を共有し円滑に連携し支援していくことを目的としています。先日，高千穂保健所にて入退院時の「医療と介護，福祉の連携シート」及び「医療機関，ケアマネ等の情報交換票」を通して，入退院における医療機関とケアマネ等の情報共有のため，「7つのルール，心掛けるポイント」について説明会がありました。4月から運用開始されますが今後，入退院の課題に対し合同協議会にて解決策を考え地域に根付いたルールが策定されることを願います。

（佐藤 元二郎）

宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会では，毎月2回会報を発行しています。双方向性の医師会運営を目指して，巻頭言として「一語一話」を掲載し，配布物として「宮崎市郡医師会に関するご意見ご要望について」という用紙を同封しています。一語一話では宮崎市郡医師会，医師会病院その他の旬な話題を提供し，情報を共有化していただくことが主な目的です。会員からのご意見に対しては理事会で協議した上で回答しています。一語一話はブログ(http://blog.goo.ne.jp/cabinet_new_wave/)でもご覧になれますのでご一読ください。

（市来 能成）

都城市北諸県郡医師会

当医師会の老人保健施設は設立30年を超える年代物となりました。医師会病院は数年前に移転し生まれ変わりました。当施設は開設当初の場所で建物も高齢化を迎え，電気・水道などのインフラの老朽化といった様々な問題を克服しようとしている状態です。その老朽化とは逆に当施設の職員の気持ちはいつも新鮮で利用者さんと温かく接しております。超高齢化といわれる現在，担当する医師も職員も年齢が上がりますが，気持ちはいつも若

々しく今後とも施設運営に対応していく所存です。

（福島 義隆）

延岡市医師会

県立延岡病院の看護師中途採用に延岡市内の病院が苦しめられている。年々，採用条件は緩くなり，現在では44歳まで可，試験もなく面接のみ，転勤なしとなっている。夜勤は1人欠けたらクールが組めないが，先方も夜勤が可能な人材を採用する。外来や手術室などお願いし，なんとかしのいでいる。存亡の危機である！河野会長は懇親会では必ず全テーブルを廻り，私のようなかけだしにも声をかけて下さる。愚痴をすべらせたところ，「その問題，やりましょう！」と力強く言われた。県庁との会合など次々と出席させていただき，意見を述べる機会を与えていただいた。この制度が終わるまで，機会を見つけて主張し続けるつもりである。

（赤須 郁太郎）

日向市東白杵郡医師会

当医師会が担う主な事業の一つに看護学校事業があり，担当理事の先生方を中心に運営改

善に取り組んでいます。

特に本年度は、受験者減少対策に力を入れ、初めての試みで社会人のみを対象とした「社会人対象入試」を実施しました。

実施にあたっては、ポスター作成、FM放送の活用、地元新聞への掲載、市・町の公報掲載など多様な広報媒体を利用しました。その甲斐あり、懸念されていた定員割れを防ぐことができました。

今後、更なる少子化対策として、入試方法の評価・検証を行い、新たな入試方法の検討も必要になってきていると思います。

(千代反田 晋)

児 湯 医 師 会

准看護学校から卒業生も巣立ち、新入生も加わりまた新しい年度となりました。

児湯医師会はほぼ難問も何もなく（貯えも余りなく）順調です。何か事が起こっても寄らば大樹（永友会長）の陰、の如く一致団結しますから安心していきます。

さて、世間は年号改正や10連休に少し浮かれ過ぎではと思うのは私だけでしょうか。個人的には透析医療にも従事しているため、正月や祝祭日の休日返上には慣れっこです。

今春に教育学部を卒業した優秀な教師が、雑務の多さ、理不尽な父兄の我儘な要求で新任教師になる夢を諦めて県外の異業種に就職する現実。若い農業従事者が沢山の美味しい農作物を作っても、流通の構造上の理由で収入が僅かで、投資が膨大過ぎて後継に夢をなくしていること等、歪な浮き世は世の常なのでしょうか。大塩平八郎の出現は叶わぬ夢ではありますが、せめて国会中継だけにはどなたか喝をお願いいたします。

(黒木 宗俊)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

2月の日州医事の各郡医師会だよりで紹介した通り、西都児湯医療センター新病院建設について、話し合いが行われています。5月に病院事業債本申請を行う予定であるため、

地元医師会・市・医療センターの三者協議を繰り返し行っています。昨年11月に仮申請を行っていますが、内容に当医師会としては、納得できないこともあり、本申請までに協議をかさね、西都市民も納得していただける新病院を建設したいと考えています。

(上野 尚美)

南 那 珂 医 師 会

周産期医療ネットワークシステムをご存知でしょうか。

一次施設である産科診療所と二次施設（県立病院等）と三次施設（大学）をネットワークでつなぎ胎児情報（胎児心拍モニター）を共有することで胎児・妊産婦の異常をいち早く見つけ、産科的異常に対処しようとするシステムです。数年前に都城から始まり4月に最後の南那珂地域のシステムが完了し県内すべての産科施設がネットワークで繋がるのです。ここまで来るのに様々な意見・賛否両論あったようです。それを乗り越え産科医療のモデルとなるようなシステムを構築しました。みなさんどう思われますか。

これが評価されるには少し時間がかかるとは思います。

(内村 利博)

西 諸 医 師 会

小林市立病院に2019年4月1日より常勤小児科医1名が着任することが先日発表された。小林市立病院は2010年11月より常勤小児科医が不在であり、現在は宮崎大学と鹿児島大学の小児科のご協力のもと非常勤の小児科医を派遣いただき、入院が必要な場合は、都城市、宮崎市、人吉市などの施設に対応を依頼しているが、今後は症例によっては小林市立病院で対応するケースもあるとのことである。

また昨年より再開された産婦人科では既に分娩が開始されており、常勤小児科医は心強い援軍として期待されている。

(井尻 裕司)

宮崎大学医学部だより

解剖学講座 — 超微形態科学分野 —



さわぐち あきら
澤口 朗 教授

私ども解剖学講座超微形態科学分野（旧解剖学第二講座）では、肉眼解剖学教育と電子顕微鏡レベルの形態学的研究に従事しております。2010年7月に澤口朗が教授に着任して9年目を

迎えました。現在の教室員は講師・豊嶋（旧姓：青山）典世，学部講師・高橋伸育，助教・生沼勉，事務補佐員・戸高靖代の計5名に加え，医学研究者育成コースで当分野に所属する医学科6年生2名と5年生8名の計10名の学生で構成されています。

学部教育は，医学科1年次～2年次の学生を対象とした肉眼解剖学の講義・実習を中心に担当しております。現行のカリキュラムでは1年次に全ての講義を終え，2年次の4月から7月にかけて解剖学実習を実施する形式となりました。臨床医学に直結する解剖学実習では，大学附属病院の耳鼻咽喉科，脳神経外科，整形外科，救命救急センターに加え，都城橘病院の柏木輝行院長（本学臨床教授）にご協力いただき，手術器具を用いた剖出により，実践的かつ臨場感あふれる「臨床」解剖学実習を推進しております。

地域貢献を目的とした取組みでは，看護師や理学療法士，救急隊員をはじめとする県内のコメディカルスタッフ養成学校を対象とした解剖学標本示説を実施しております。さらに，プロ

野球：読売ジャイアンツの要請を受けて，トレーナーやトレーニングコーチのスキルアップをはかる解剖学標本示説研修を実施しております。強力なバッティングや繊細なピッチングに係わる筋や神経の走行，関節構造の理解が深まることに，好評をいただいております。

研究では，ヒトiPS細胞を用いた血球産生と臨床応用で世界をリードする江藤浩之教授（京都大学iPS細胞研究所）との共同研究において，電子顕微鏡を用いた血小板の超微形態解析を担当し，その成果がCell 174 (3) :636-648, 2018に掲載されると共に，2018年9月には「血小板輸血不応症を合併した再生不良性貧血」患者を対象とするiPS細胞由来血小板の自己輸血に関する臨床研究計画が厚生労働省より了承されました（この際の報道記者会見では，当研究室で撮影されたiPS細胞由来血小板の電子顕微鏡写真も用いて臨床研究計画の概要が説明されました）。さらに当研究室では，iPS細胞を応用した再生医療研究を促進するため，細胞や組織の立体構造を簡便かつ迅速に解析できる新たな電顕観察手法を開発し（Scientific Reports, 8 :7479, 2018），その応用と改良を進めております。

地域医療を担う医師不足が叫ばれる中，次世代の基礎医学研究と教育を担う人材不足も顕在化し，本学でも医学研究者育成コースの設置など，多角的な対策が進められております。未来に夢を描く学生に，基礎医学の道を歩む魅力を伝えるべく日々尽力して参りますので，今後ともご指導とご鞭撻の程，よろしく願い申し上げます。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(精神科医会)

よしだ けんせい
吉田 建世 会長

宮崎県精神科医会は、平成31年1月現在、A会員が39名、B会員が118名、大学と行政関係の医師であるC会員が25名の合計182名で構成されています。平成30年4月の役員改選で、藤元病院の竹内康三先生、県南病院の藤元ますみ先生、宮崎県精神保健福祉センター所長の直野慶子先生が新しく理事になりました。その他は、前期と同じメンバーの体制となっています。

1年間の事業としては、年1回の総会と、年2回の学術研究会としての『精神科医会懇話会』を開催しています。また、年に1回の機関誌「会誌」を発行し、今年度で第33号を数えました。

平成30年度の『精神科医会懇話会』での特別講演では、6月には京都大学大学院医学研究科脳病態生理の村井俊哉教授に「統合失調症の概念・病態・治療」と題しご講演をいただき、伝統的な統合失調症の診断基準と現代の診断方法の視点の違いを説明していただきました。12月には筑波大学大学院人間総合科学研究科の水上勝義教授に「DLBの病態、診断、治療」と題しご講演をいただき、レビー小体型認知症（DLB）では、特に、初期の症状としての不眠やレム睡眠行動障害の他に、便秘やふらつき、意識消失などの身体症状が早期診断に大切となることなどをご教授いた

きました。各々の講演で、最新の医療・診断などを学ぶことができます。

また精神科領域では、昨年4月の診療報酬改定において、向精神薬の長期処方減点対象となりました。具体的には、不安や不眠の症状に対し、ベンゾジアゼピン系の薬剤を12か月以上連続して、同一の用法・用量で処方されている場合に、処方料が42点から29点に、処方箋料が68点から40点に減点されます。これは一般診療科の先生にはかなりの懸念となっておりますが、除外規定としての「十分な経験を有する医師」の項目に、「不安または不眠に係る適切な研修を修了したもの」との解釈が示され、これには、日本医師会の生涯のカリキュラムコードの「不眠」または「不安」をみたく研修の2単位以上を受けることで、基準に該当することになったために、現在精神科医会としても、宮崎県医師会と共催して「向精神薬の長期処方に関する研修会」を開催しているところです。1回目が平成30年12月7日に、東京医科大学睡眠学講座の井上雄一教授に宮崎県医師会館までお越しいただき、「不眠症治療の効率化を目指して」と題し、ご講演をいただきました。2回目を平成31年3月22日に、同じく宮崎県医師会館において、宮崎大学安全衛生保健センターの武田龍一郎教授にお願いをしまして、好評を得ました。県医師会の先生方には、多くのご参加をいただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

日医インターネットニュースから

■児相への医師配置「義務化を」

— 自民・提言案 —

自民党の厚生労働部会と「虐待等に関する特命委員会」の合同会議は2月27日、厚生労働省が3月の国会提出を目指している児童福祉法・児童虐待防止法改正案を視野に、児童虐待防止対策の提言案を巡って議論した。提言案では、児童相談所への医師配置の義務化などを求めている。

この日の出席議員の意見も踏まえ、提言案に手を入れた上で党内手続きを進め、厚労省に提出する見通し。

提言案では、児相と医師の在り方に言及。「児童相談所において、法的・医学的知見を踏まえたケースワークの実施に資するよう、弁護士、医師が日常的に意思決定に参画できる体制を整備すること。そのため、弁護士、医師の配置を義務化し、財政的な支援を大幅拡充するとともに、関係団体の協力を得て、研修等の充実により、子ども家庭福祉に携わる弁護士、医師の増加を図ること」を求めている。

現行の児童福祉法では、児相に医師か保健師を配置すればいいことになっており、医師は必置になっていない。

14日に自民党の「児童の養護と未来を考える議員連盟」と超党派の「児童虐待から子どもを守る議員の会」が厚労省に提出した要望書では、医師の「常勤配置」の義務化を求めている。ただ、自民党内では、全ての児相で常勤医師を確保するのは現実的には難しいのではないかとの懸念も出ている。（平成31年3月1日）

■受け入れ条件を整えば退院可能12.9%

— 厚労省・17年患者調査 —

厚生労働省は3月1日、2017年患者調査の概況を公表。推計入院患者数のうち、受け入れ

条件を整えば退院可能な患者は前回調査に比べて0.7ポイント減の12.9%。減少傾向が続いている。年齢階級別で見ると、75歳以上が最も高い14.0%、次いで65歳以上が13.6%で、年齢が上がるほど高くなっていった。

推計入院患者数の構成割合は、生命の危険は少ないが入院治療を要する患者が75.2%、生命の危険がある患者が5.9%、検査入院が1.0%となった。調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は入院が131万2600人、外来が719万1000人で、入院は減少傾向、外来はほぼ横ばいとなった。年齢階級別に見ると、入院、外来ともに65歳以上は増加傾向、それ以外は減少傾向となった。

入院患者を傷病分類別に見ると、最も多いのが「精神および行動の障害」で25万2000人、次いで「循環器系の疾患」が22万8600人、「新生物（腫瘍）」が14万2200人などとなった。外来では「消化器系の疾患」が最も多い129万3200人で、「循環器系の疾患」が88万8900人、「筋骨格系および結合組織の疾患」が87万7200人などとなった。

●医師・歯科医師以外の訪問が大きな伸び

調査日に在宅医療を受けた推計患者数は18万100人で、前回調査時と比べて2万3700人増加した。08年調査以来、増加傾向が続いている。施設種類別に見ると、病院が2万300人、一般診療所が10万5200人、歯科診療所が5万4600人となった。医療の種類別では、往診が4万4300人、訪問診療が11万6300人でいずれも増加したほか、医師・歯科医師以外の訪問が前回調査に比べて1万2000人増の1万9600人と大きく伸びた。

全国の人口10万人当たりの受療率は、入院が1036、外来が5675。都道府県別の入院受療率を見ると、最も高かったのは高知で2101、最も低かったのは神奈川で706だった。外来受療率が最も高かったのは佐賀で7115、最も低か

ったのは沖縄で4586だった。

調査は医療機関を利用した患者の疾病の状況などを調査し、医療行政の基礎資料とするため、3年に1度実施している。今回の調査は病院6427施設、一般診療所5887施設、歯科診療所1280施設を利用した入院・外来患者約228万人、退院患者約115万人が対象となった。

(平成31年 3 月 5 日)

■働き方改革支援、20年度改定の課題に — 松本常任理事 —

松本吉郎常任理事（中医協委員）は、今年4月から医師を除く医療機関の全職員への時間外労働上限規制が始まることから、2020年度診療報酬改定でも働き方改革支援・推進が大きな検討課題になるとの認識を示した。メディアファクスの取材に応えた。

18年度診療報酬改定でも医療従事者の働き方改革や、負担軽減を念頭に置いた常勤配置要件の緩和・廃止などが行われた。近く開かれる中医協でも、20年度改定の検討の方向性などに関する議論が始まる見通しとなっている。

松本常任理事は、20年度改定の議論に臨むに当たり「次期改定の財源次第だが、働き方改革に対して診療報酬でも支援してもらいたいというのが日医としての基本的な考え方」と説明。その上で、働き方改革を支援、推進するために「見える形で、どこを重点的に評価するのかなどは今後の検討課題。医療機関全体であったり、救急医療であったり、医師等を含めた医療従事者等への支援も含めて議論すべきだ」との見方を示した。

●「補填精緻化」「継続検証」を評価

一方、10月施行予定の消費税率10%への引き上げに向け答申された19年度診療報酬改定についても言及。中医協総会で確認された国民への周知の必要性については「医療の控除対象外消費税の問題について、仕組みそのものへの理解を得ることは容易ではない。それでも、国民の理解を得るには不断の努力を重ねていくことが必要」と強調し、診療側としても厚生労働省と相談しながら対応する姿勢を示した。

また、厚労省の「医療機関等における消費税負担に関する分科会」でまとめられた考え方については「診療報酬による補填の精緻化と、継続的に検証するルールの重要性が確認された。全体的には評価している」と振り返った。

特定入院料の配点では、種類が多く個別の特定入院料ごとに上乗せ率を算出することが現実的でないため、入院基本料と特定入院料の配点で急性期一般入院料等、地域一般入院料等の2分類と、精神病棟での2分類を合わせた4分類として検討が進んだ。一部の医療現場からは、この4分類についてさらなる精緻化を求める声が上がっている。

この問題提起については「入院機能を見れば、もう少しきめ細かい分類ができなかったのかと考えられるが、実際にどこまで細分化できたのかとなると、なかなか難しい」と説明。その上で「現段階では、病院種別ごとの入院料シェアを考慮して可能な限り実態を踏まえた精緻化ができたのではないか。ただ、今後の検証結果を踏まえてさらに検討を加えていくことは可能だろう」と述べた。（平成31年 3 月 8 日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

お知らせ

平成31年度 宮崎県医師会諸会費について

平成31年度の諸会費は、宮崎県医師会会費賦課徴収規程及び会館維持管理負担金等賦課徴収規程に基づき、下記のとおりとなりますのでお知らせいたします。

区分		A会員 病院、診療所の開設者、管理者等	B会員 勤務医	C会員 医師法に基づく研修医
県医学会費	均等割	月額 7,000 円	月額 3,000 円 但し宮大医会員は 月額 1,000 円	免除
	所得割	別表①	—	—
県医学会館維持 管理負担金		別表②	—	—
県医学会館返済 資金負担金		別表③	—	—
入会時負担金		新規 A 会員 500,000 円 管理継承者 100,000 円 相続継承者 50,000 円	5,000 円	免除
日医学会費		A①会費 ※医賠償保険加入 126,000 円(年額) 第 1 期 42,000 円(5 月徴収) 第 2 期 42,000 円(8 月徴収) 第 3 期 42,000 円(12 月徴収)	A②(B)会費 ※医賠償保険加入 4 月 1 日現在 31 歳以上 68,000 円(年額) 第 1 期 22,000 円(5 月徴収) 第 2 期 24,000 円(8 月徴収) 第 3 期 22,000 円(12 月徴収) 4 月 1 日現在 30 歳以下 39,000 円(年額) 第 1 期 13,000 円(5 月徴収) 第 2 期 13,000 円(8 月徴収) 第 3 期 13,000 円(12 月徴収)	A②(C)会費 ※医賠償保険加入 15,000 円(年額) 第 1 期 5,000 円(5 月徴収) 第 2 期 5,000 円(8 月徴収) 第 3 期 5,000 円(12 月徴収)
			B会費 ※医賠償保険非加入 28,000 円(年額) 第 1 期 9,000 円(5 月徴収) 第 2 期 10,000 円(8 月徴収) 第 3 期 9,000 円(12 月徴収)	C会費 ※医賠償保険非加入 免除

別表①(県医所得割会費)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	—
2	1,000万円以上 2,000万円未満	1,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,000円
4	3,000万円以上 5,000万円未満	3,000円
5	5,000万円以上 10,000万円未満	4,000円
6	10,000万円以上	5,000円

別表②(県医学会館維持管理負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	1,500円
2	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,500円
4	3,000万円以上	3,000円

別表③(県医学会館返済資金負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	1,500円
2	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,500円
4	3,000万円以上	3,000円

※会費減免の申請について

(1) 高齢を事由とする場合

- ①県医学会費は、年齢が満80歳以上で県医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ②日医学会費は、年齢が満83歳以上で日本医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ③平成30年度以前に会費減免を受けた方は、申請内容（例えば医賠償保険加入の有無等）に変更がない限り、申請は不要です。

(2) 疾病の事由による場合

- ①疾病による会費減免は、診断書（写しでも可）の添付が必要です。
- ②平成30年度に会費減免を受け、平成31年度も会費減免を継続する場合、改めて申請が必要です。この場合も診断書（写しでも可）の添付が必要です。

(3) 出産育児の事由による場合

- ①出産育児の事由による会費減免は出産が確認できる書類（写しでも可）の添付が必要です。
- ②対象会員は女性会員です。開業医・勤務医は問いません。育児休業取得・未取得は問いません。
- ③減免期間は、日医学会費は出産日の属する年度の翌年度1年間です。県医学会費は申請を受け付けた翌月から1年間です。

医師国保組合だより

～平成31年度の保険料賦課について～

平成31年3月14日に開催された通常組合会において、当組合の財政運営安定化を図るため、保険料賦課額の規約の一部改正が可決承認されました。4月以降は、後期高齢者支援金分保険料が3,500円から4,500円に、介護納付金分保険料が4,000円から4,600円になりますことをご報告申し上げます。

月額保険料

	医療給付費分保険料	後期高齢者支援金分 保険料	介護納付金分保険料 (40歳以上65歳未満)
A会員組合員	35,000円 ※1	4,500円	4,600円
B会員組合員	25,000円 ※1	4,500円	4,600円
家 族	3,500円	4,500円	4,600円
高齢組合員 (75歳以上)	3,000円	—	—

※1 組合員の医療給付費分保険料については、条件に該当し申請した場合は下表の保険料となります。
条件：前々年分の総収入金額が5,000万円未満、かつ課税所得金額が2,000万円未満

保険料減額表

区分	課税所得金額	医療給付費分保険料（月額）	
		A会員組合員	B会員組合員
1	1,700万円以上～2,000万円未満	33,000円	23,000円
2	1,500万円以上～1,700万円未満	30,000円	20,000円
3	1,300万円以上～1,500万円未満	27,000円	18,000円
4	1,000万円以上～1,300万円未満	25,000円	16,000円
5	800万円以上～1,000万円未満	23,000円	15,000円
6	600万円以上～ 800万円未満	20,000円	14,000円
7	400万円以上～ 600万円未満	17,000円	13,000円
8	200万円以上～ 400万円未満	15,000円	12,000円
9	100万円以上～ 200万円未満	13,000円	10,000円
10	50万円以上～ 100万円未満	10,000円	8,000円
11	50万円未満	5,000円	5,000円

～保健事業に関するお願い～

平成30年度中に当組合の各種保健事業を実施された組合員及び該当するご家族の方で、健康診断個人票や各種申請書をまだ提出されていない方は、5月24日(金) (必着)迄にご提出ください。

提出期日を過ぎますとお支払いができませんのでご注意ください。お早目のご提出をお願い申し上げます。

また、今年度も昨年度と同じく保健事業を実施いたします。5月に「保健事業の案内」を組合員の先生方宛に送付する予定ですが、4月から受診されても結構です。その際には、当組合ウェブサイトから申請書をダウンロードしてご請求くださいますようお願い申し上げます。

◎保健事業一覧

健康診断	特定健康診査・特定保健指導
胃・大腸内視鏡検査の補助	歯科健康診査
低線量ヘリカルCT肺がん検診	肺炎球菌ワクチン接種補助
脳ドック等の補助	インフルエンザワクチン接種補助

～国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い～

修学のため親元を離れて住む方は届出が必要です (ただし、住民票を移した場合のみ)

国保法第116条 修学中の被保険者の特例について

修学のため親元を離れ、学校所在地に生活の本拠地を移す例は非常に多くみられます。そのような学生は一般的に所得がなく、保険料負担能力を欠くため、学校所在地域保険者の被保険者とする、学生の比率の高い市町村に対しては財政的に影響を与えることになります。

また、医療費の負担は本来親元の世帯の負担となるべきものであることから、国保の適用について、このような場合は親元に住所があり、親元の世帯に属するものとみなしています。

国保法第116条の規定はこのような修学中の被保険者の特例規定です。

また、この場合、同法施行規則第5条の規定により組合への届出が必要です。

◇手続きについて◇

	事 由	提出書類
1	新たに修学のため親元を離れて住むご家族がいる場合	「第116条該当届」 「在学証明書」
2	これまで、「第116条該当届」を提出している場合、または、毎年「在学証明書」を提出している場合 ①届出をした学校に引き続き修学する	「在学証明書」 「在学証明書」
	②届出をした学校と異なる学校に新たに修学する	「第116条非該当届」 「第116条該当届」(新たな修学先用) 「在学証明書」
	③住民票を組合員の住所に戻した時	「第116条非該当届」
	④卒業・就職して新しい保険に加入する	「資格喪失届」 「当組合の被保険者証」 「次に加入の保険の加入証明書 または被保険者証の写し」
3	上記1, 2以外で、卒業・就職等で新しい保険に加入する (または加入した)	「資格喪失届」 「当組合の被保険者証」 「次に加入の保険の加入証明書 または被保険者証の写し」

《注 記》

- 1) 在学証明書は、毎年4月1日以降発行のものを提出ください。
新入学の場合は、入学式終了直後から在学証明書が発行されます。
(※入寮許可証や学生証等は認められません)
- 2) 本届出に関する書類は、3月中旬に該当する組合員宛へ「平成31年度保険料賦課のお知らせ」と一緒に送付しておりますのでご確認ください。

健康保険適用除外申請の手続きについて

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

(お知らせ) 届出様式は、宮崎県医師国民健康保険組合ウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

3月のベストセラー（宮崎県）

集計：2019年3月1日～3月26日

1	一切なりゆき	樹 木 希 林	文 藝 春 秋
2	樹木希林120の遺言	樹 木 希 林	宝 島 社
3	夢を釣る	佐 伯 泰 英	光 文 社
4	医者が考案した「長生きみそ汁」	小 林 弘 幸	ア ス コ ム
5	日本国紀	百 田 尚 樹	幻 冬 舎
6	君は月夜に光り輝く	佐 野 徹 夜	KADOKAWA
7	年金だけでも暮らせます	荻 原 博 子	P H P 研 究 所
8	騎士団長殺し 第一部 [上]・[下]	村 上 春 樹	新 潮 社
9	迷路の外には何がある？	スペンサー・ジョンソン	扶 桑 社
10	今こそ、韓国に謝ろう	百 田 尚 樹	飛 鳥 新 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985)56-0868

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
c	d	b	b	a	a	b	c・d	c

医師資格証を持ちましょう

「医師資格証」はHPKI (保健医療福祉分野公開鍵基盤) の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

- 医師資格証は5年ごとの更新になりました
- 申請方法と受け取り方法が変更になりました
- 年間利用料が廃止されました
- 2年ごとのオンライン更新が不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



<p>地域医療連携内での診療情報提供書へのHPKI電子署名 (平成28年診療報酬改定において加算を算定することが可能)</p>	<p>電子処方せん発行時のHPKI電子署名に使用</p> 	<p>日医生涯教育制度、認定医、かかりつけ医など各種研修時の受講履歴、取得単位管理に使用</p>	<p>地域医療連携システムへのログイン認証</p> 
<p>医師資格証ポータルサイトの利用</p> 	<p>治験データへのHPKI電子署名</p> 	<p>文書交換サービスの利用</p> 	<p>身分証としての活用 JAL DOCTOR登録制度などへの任意登録に使用する ※医師資格証を身分証として活用できるように各企業、行政機関に働きかけを行なっています</p>



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階



詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmca.med.or.jp/>



平成31年2月5日(火)第20回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県感染症対策審議会委員の推薦について

→感染症対策の総合的な推進のために設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、現職の意向も確認し、宮崎大学医学部の岡山昭彦教授(新)と高村常任理事(再)を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①5/25(土)・26(日)(宮崎市)「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019宮崎」に関する後援名義使用承認のお願いについて

→がんを患った方とその家族・友人・支援者たちが一緒に語りあいながら歩くことにより、がん征圧の大切さを社会に訴えるイベント等で、名義後援を行うことが承認された。

3. 2/28(木)(宮崎市)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 1月末日現在の会員数について
3. 1/30(水)(宮大)宮大経営協議会・学長選考会議について
4. 2/2(土)(鹿児島)九医連常任委員会について
5. 2/5(火)(県庁)県社会福祉審議会について
6. 1/31(木)(県医)県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議について
7. 2/2(土)(鹿児島)九州各県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会について
8. 2/1(金)(県庁)県肝炎対策懇話会について
9. 2/2(土)(鹿児島)九医連各種協議会について
10. 2/4(月)(県医)医療安全対策セミナーについて
11. 2/5(火)(県医)治験審査委員会について
12. 1/30(水)(県医)県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
13. 1/31(木)(県医)小児在宅医療についての打合せ会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 趣意書《特集・みやざき》河野県政3期目が始動『日本のひなた』も新たなステージへの取材及び協賛依頼について

河野俊嗣知事が3期目の当選を果たされたことに関連する特集で、経済10団体トップのインタビュー企画については、河野

委員長に一任することが承認され、広告掲載協賛については見送ることとなった。

平成31年 2 月 19 日(火) 第21回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 9/20(金)・21(土)(シーガイア)日本医療マネジメント学会第18回九州山口連合大会開催経費助成について

国立病院機構宮崎東病院が担当施設となり、九州・山口地域の病院関係者約1,000名が参加する総合医学系の学会で、開催経費の助成に協力することを承認すると共に、助成基準を見直すこととなった。

2. 本会外の役員等の推薦について

①天皇陛下御即位宮崎県奉祝会奉祝委員ご就任のお願いについて

→今上陛下ご即位30年と第126代天皇陛下ご即位をお祝いする集い等を企画する奉祝会で、河野会長が奉祝委員に就任することが承認された。

②宮崎県母子保健運営協議会の委員の推薦及び就任について

→母子保健事業の総合的かつ効果的な施策の実施等を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼等があり、県産婦人科医会、県小児科医会の意向を確認した上で、嶋本理事と河野慶一郎先生を推薦すること並びにHTLV-1母子感染対策協議会の濱田会長(県医副会長)の委員就任が承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①5/11(土)(宮崎市民プラザ)「看護の日・看護週間」事業みやざきナースToday

2019&看護進路説明会の名義後援について

→県民に「看護」について考える機会を提供すると共に、看護のイメージアップを図り人材の確保定着と「看護の心」を伝えることを目的に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

②9/20(金)・21(土)(シーガイア)日本医療マネジメント学会第18回九州山口連合大会後援名義依頼について

→「地域における多職種連携の在り方～患者中心の医療・介護をめざして～」をテーマに、医療マネジメントの手法開発と普及を目的に開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 3/31(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡協議会の開催について

日医代議員の河野会長、濱田・山村副会長、吉田常任理事が出席することが承認された。

5. 5/26(日)(日医)「日医かかりつけ医機能研修制度2019年応用研修会」の開催について

今後の更なる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修制度で、日本医師会のテレビ会議システムを利用して同時中継による研修会を開催することが承認された。

6. 4/6(土)・7(日)(鹿児島)「九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会」並びに「第3回九州ブロック災害医療研修会」の開催について

池井・佐々木(幸)常任理事に加え、救急

災害医療担当理事の中で出席者を検討することが承認された。

7. 都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会の開催について

産業医の組織化及び医師の働き方改革等について協議する連絡協議会で、佐々木(幸)常任理事が出席することが承認された。

8. 宮崎県災害医療コーディネーター(第4期)の委嘱について

任期満了に伴う推薦依頼(任期:2019年4月1日~2021年3月31日)で、各郡市医師会選出のコーディネーターに変更がないか確認すると共に県医師会から小牧・池井・佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 2/9(土)(宮観ホテル)県内医師会病院連絡協議会について

3. 2/19(火)(宮大医学部)県がん診療連携協議会について

4. 2/17(日)(日医)日医母子保健講習会について

5. 2/7(木)(県医)宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員会との勉強会)について

6. 2/8(金)(県庁)県個人情報保護審議会について

7. 2/13(水)(県医)広報委員会について

8. 2/15(金)(県庁)県歯科保健推進協議会について

9. 2/13(水)(看護協会)県ナースセンター事業運営委員会について

10. 2/16(土)(シーガイア)病院部会・医療法人部会医療従事者研修会について

11. 2/7(木)(県医)特定健康診査等従事者研修会について

12. 2/9(土)・10(日)(長崎)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会・総会について

13. 2/13(水)(日医)日医医療政策シンポジウム2019について

14. 2/15(金)(東京)地域医療構想アドバイザー会議について

15. 2/6(水)(県医)日医認定産業医制度関係小委員会について

16. 2/9(土)(福岡)九州学校検診協議会専門委員会及び九州各県医師会学校保健担当理事者会について

17. 2/12(火)(県医)県麻しん対策推進会議及び予防接種広域化検討会議について

18. 2/11(月)(県医)緩和ケアチーム研修会について

19. 2/13(水)(県医)認知症初期集中支援チーム情報交換会について

20. 2/14(木)(メリージュ)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

21. 2/17(日)(県医)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

22. 2/18(月)(県医)介護保険に関する主治医研修会について

23. その他

① 2/13(水)(県庁)宮崎メディカルコントロール協議会について

② 2/14(木)(西都市)西都児湯医療センター施設整備基本計画に係る三者協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 3/7(木)(東京)武見敬三講演会のご案内について

「活力ある健康長寿都市東京」をテーマに、麻生副総理が代表を務める志公会と東京都医師連盟委員長等が発起人となり開催される講演会で、河野委員長は所用により出席できないことから、参加を希望する役員は事務局に申し出ることとなった。

平成31年2月26日(火)第15回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 4/11(木)(日医)平成31年度都道府県医師会税制担当理事連絡協議会の開催について

本年10月の消費税率10%への引き上げを控え、平成31年度税制改正の主要事項及び消費税軽減税率制度への理解を深めることを目的に開催される連絡協議会で、日医TV会議システムの中継により吉田常任理事が参加することが承認された。

2. 会費減免申請について

疾病による会費減免2名(日医・県医)と臨床研修医(2年次)1名の会費減免(日医・県医)が承認された。

3. 平成31年度収支予算(案)について

経常収益計4億2,168万8千円、経常費用計4億2,105万2千円、当期経常増減額63万6千円で、収支相償及び公益目的事業費率の条件も満たしていることを確認した上で、3月12日に法定理事会に上程することが承認された。

4. 平成31年度資金運用計画(案)について

資金運用規程に基づき、運用限度額を総額2億3,951万1千円とする運用計画を3月12日の理事会に上程することが承認された。

5. 平成31年度事業計画(案)について

昨年の事業計画をもとに具体的事項の確認が行われ、担当理事を中心に再度見直しを行った上で、3月12日の法定理事会に上程することが承認された。

6. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、米澤理事を推薦することが承認された。

②はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費に関する学識経験者委員の推薦について

→はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費に関する受領委任払いが導入されたことを受け、新たに国保連合会に設置される療養費審査委員会委員の推薦依頼で、米澤理事を推薦することが承認された。

③生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、県本庁嘱託医2名と郡部福祉事務所精神科嘱託医5名の計7名(一部重複)について、現職の再任の意向が確認できたことから、引き続き嘱託医をお願いすることが承認された。

7. 後援・共催名義等使用許可について

①9/8(日)(宮崎市民文化ホール)「第9回いのちの講演会」名義後援の申請について

→「子ども達の命から教えてもらったこと」をテーマに開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

8. 次期(2020年度)診療報酬改定の要望項

目に係る「九州各県医師会診療報酬当
理事連絡協議会」開催について

次期診療報酬改定に対する要望項目を
日医社会保険診療報酬検討委員会に提出
するための開催要請で、本会として連絡
協議会の開催を承認することとした。

9. 3/1(金)(宮観ホテル)各郡市医師会(連
盟)役員等連絡協議会について

スケジュール及び役割分担の最終確認
が行われた。

10. 平成30年度健康教育事業費補助金交付申請
について

各郡市医師会及び専門分科医会等が行
う健康教育事業を補助することによっ
て、県民の健康増進と地域の取組みに寄
与することを目的とする事業で、西都市
西児湯医師会、県小児科医会、県眼科医
会、県皮膚科医会、県透析医会に対して
補助金を交付することが承認された。

11. 3・4月の行事予定について

3月の追加行事について確認が行われた。

医師会関係

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 2/24(日)(県医)医神祭について

3. 2/24(日)(県医)創立130周年記念医学会
・県民健康セミナーについて

4. 2/20(水)(県医)広報委員会について

5. 2/21(木)(日医)日医医療秘書認定試験委
員会について

6. 2/25(月)(県医)県医療勤務環境改善セ
ミナーについて

7. 2/20(水)(日医)日医産業保健委員会につ
いて

8. 2/24(日)(福岡)JMAT研修 統括JM
AT編について

9. 2/13(水)(宮大医学部)宮大医学部医の倫
理委員会について

10. 1/30(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員
会について

11. 2/22(金)(県医)勤務医部会理事会・後期
講演会について

12. 2/7(木)(川南町)社会保険医療担当者の
個別指導について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)

1. 2/26(火)(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 3/1(金)(宮観ホテル)県医師連盟執行委
員会について

平成31年度事業計画、会費賦課及び徴
収方法、平成31年度収支予算、次期県議
会議員推薦候補者の4つの協議事項を執
行委員会に提出することが承認された。

2. 3/16(土)(JA-AZM)総務・支部長合同会
議の開催について

平成31年度の運動方針及び予算等を協
議する合同会議で、河野委員長が公務に
より出張のため欠席とすることが承認さ
れた。

県 医 の 動 き

(3月)

1	(日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (峰松理事) 県医師連盟執行委員会(河野委員長他) 各郡市医師会(連盟)役員等連絡協議会(会長他)	16 17	九州医師協同組合連合会購買・保険部会, 職員 研修会(河野理事長他) (東京) 医療事故調査制度に係る支援団体統括 者セミナー(荒木常任理事)
2	ICLS指導者養成ワークショップ	17	(日医) 日医学校保健講習会(高村常任理事)
2-3	県産婦人科医会ひむかセミナー (東京) 日医医療情報システム協議会(荒木常任理事他)	18	県アイバンク協会理事会(会長) 西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議 (金丸常任理事) 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議 (石川常任理事)
3	ACLS研修会 県災害医療コーディネート研修会(池井常任理事他) (福岡) レジナビフェア(金丸常任理事)	19	県総合計画審議会専門部会(会長) 地域医療介護総合確保基金要望協議(会長他)
4	県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググ ループ(金丸常任理事)	20	宮大経営協議会(会長) 県防災会議(佐々木常任理事) 県保険者協議会(濱田副理事長) 県健康づくり推進協議会(山村副会長) 助産師育成に関する意見交換会(濱田副会長) 県母子保健運営協議会(濱田副会長他)
5	治験審査委員会(荒木常任理事他) 第22回常任理事協議会(会長他)	22	県国保運営協議会(小牧常任理事) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 (吉田常任理事他) 県医療審議会医療法人等部会(濱田副会長他) 広報委員会(荒木常任理事他) 向精神薬の長期処方に関する研修会(TV会議) (会長他)
6	(日医) 日医公衆衛生委員会(吉田常任理事) 県脳卒中医療協議会(岩村理事)	23	県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け 研修会(池井常任理事) おぎゃー献金チャリティーコンサート 県小児科医会役員会(高村常任理事)
8	(日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会 (山村副会長) (福岡) 全国国保組合協会九州支部総会(秦理事長) 県准看護師試験委員会(荒木常任理事他) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ 研修会(TV会議)(石川常任理事)	24	医師国保組合歩こう会(秦理事長他) 県ロコモティブシンドローム予防講演会 (帖佐理事)
9	臨床検査精度管理調査報告会 HTLV-1母子感染対策事業研修会	25	県国保連合会臨時理事会(秦理事長)
10	医師クラーク育成・スキルアップ研修会	26	医協理事会(河野理事長他) 第23回常任理事協議会(会長他)
11	宮大医学部附属病院医師研修管理委員会(会長) 県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議 会(三者協議会)(濱田副会長他)	27	県個人情報保護審議会(荒木常任理事) 労災診療指導委員会(川野理事)
12	治験理事会(小牧常任理事他) 第4回理事会(会長他) 第16回全理事協議会(会長他)	29	医療事故調査支援委員会常任委員会(会長他) 県産婦人科医会医療保険委員会(嶋本理事)
13	県移植推進財団理事会(濱田副会長) (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会(高村常任理事) 支払基金幹事会(会長) 広報委員会(荒木常任理事他)	30	(東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会試 験委員会(会長他) (東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常 任委員会(会長他) (東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会運 営委員会(会長他)
14	医療機関経営セミナー(TV会議)(河野理事長他) 医師国保組合通常組合会(秦理事長他) 県産婦人科医会全理事会(嶋本理事)	31	(日医) 九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他) (日医) 日医臨時代議員会(会長他)
15	(東京) 全国国保組合協会総会(秦理事長) (小林市) 西諸医師会臨時総会 宮崎県医師会災害医療研修会(TV会議)(会長他) 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (池井常任理事)		
16	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・ 研修会		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成31年 3 月 7 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	1	2
麻 酔 科	1	0	1
泌 尿 器 科	1	1	0
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非 常 勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 70人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平成 30 年 度	4	3	7
平成16年度から累計	50	20	70

3. 求人登録 97件 357人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	104	81	23	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	28	23	5	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	13	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	15	11	4	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	7	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	12	11	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	14	10	4
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	357	280	77

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピアプレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	助)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮崎市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アプラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延岡市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おぎまメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串間市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日南市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成31年3月7日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成31年 3月27日

4		月		
1	月		14 日	
2	火	18：00 治験審査委員会 19：00 第1回常任理事協議会	15 月	19：00 県臨床研修・専門研修運営協議会 19：00 医師国保組合理事会 19：00 広報委員会
3	水	16：00 (日医)日医学術推進会議	16 火	19：00 第2回常任理事協議会
4	木	14：00 (日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会	17 水	19：00 広報委員会
		19：00 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会	18 木	19：00 病院部会・医療法人部会合同理事会
5	金	14：00 (日医)日医勤務医委員会	19 金	19：00 県内科医会理事会
6	土	14：00 (鹿児島)九州ブロック災害医療研修会	20 土	
		16：00 (日医)日医医師会将来ビジョン委員会	21 日	13：00 医療メディエーター研修会(導入編)
		16：10 宮崎県臨床研修医説明会／新研修医祝賀会	22 月	19：00 県糖尿病対策推進会議小幹事会
		16：45 (鹿児島)九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会		
7	日	9：00 (鹿児島)九州ブロック災害医療研修会	23 火	18：15 医協理事会 19：00 第1回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
		14：00 (鹿児島)九州各県医師会診療報酬担当理事連絡協議会	24 水	15：00 労災診療指導委員会
8	月		25 木	19：00 小児在宅医療に関する打合せ会
9	火			
10	水	16：00 支払基金幹事会	26 金	18：00 県認知症疾患医療センター合同会議 19：00 県外科医会理事会
11	木	14：00 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会(日医TV会議)	27 土	8：45 (愛知)日本医学会総会 15：00 県産婦人科医会春期総会
		19：30 県産婦人科医会全理事会		
12	金	19：00 九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せ	28 日	8：30 (愛知)日本医学会総会
13	土		29 月	(昭和の日) 8：30 (愛知)日本医学会総会
			30 火	(国民の休日)

↑ 国
 保
 社
 査
 ↓ 保
 査

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成31年3月27日

		5		月			
1	水	(国民の祝日)		17	金	14:00 (日医) 都道府県医師会勤務医 担当理事連絡協議会	
2	木	(国民の休日)					
3	金	(憲法記念日)		18	土	14:30 産業医部会総会・研修会 (TV会議)	↑
4	土	(みどりの日)		19	日		
5	日	(こどもの日)		20	月	18:30 医協会計監査	保 審 査
6	月	(振替休日)		21	火	15:00 (日医) 都道府県医師会長協議会 17:00 (日医) 日医連執行委員会	
7	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第3回常任理事協議会		22	水	19:00 広報委員会	↓
8	水	16:00 支払基金幹事会		23	木		
9	木	14:00 宮大医学部認定再生医療等委員会 19:30 県産婦人科医会常任理事会		24	金	19:00 認知症サポート医・かかり つけ医スキルアップ研修会 (TV会議)	社 保 審 査
10	金	14:30 (日医) 日医医師会共同利用施 設検討委員会 16:00 (鹿児島) 九医連事務局長連絡 協議会		25	土		
11	土	16:00 県内科医会総会・講演会		26	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修 制度応用研修会(日医TV会議) 13:30 県小児科医会総会・春季学 術講演会	↓
12	日			27	月		
13	月	14:00 (県庁) 県総合計画審議会・専 門部会合同会議 19:00 産業医部会理事会		28	火	19:00 第2回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
14	火	15:00 (福岡) 九州ブロック医師の育 成を考える会総会 18:15 医協理事会 19:00 第4回常任理事協議会		29	水	14:00 (日医) 日医小児在宅ケア検討 委員会 15:00 労災診療指導委員会	
15	水	19:00 広報委員会		30	木	18:00 医協理事会 18:30 県医監事監査	
16	木			31	金	15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験 委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第183回宮崎県 眼科医会講習会 4月6日(土) 16:50～19:00 KITEN 参加費：3,000円	前眼部OCTの取り方のコツ(仮) 宮崎大学医学部 眼科 ORT 樋渡 翔梧	36 (0.5)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-25-1015 ◇共催 参天製薬(株) バイエル薬品(株)
	後眼部OCTの取り方のコツ(仮) 大塚眼科医院 ORT 後藤 禎久	36 (0.5)	
	緑内障の治療について 琉球大学医学研究科 医学専攻 眼科学講座 准教授 酒井 寛	36 (1.0)	
第135回宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 4月9日(火) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	カテーテルアブレーション周術期における抗凝固療法 と合併症について 宮崎市郡医師会病院 心臓病センター循環器内科 医長 森久 健二	15 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	血管再生療法の現状と展望 名古屋大学医学系研究科 循環器内科学 教授 室原 豊明	9 (1.0)	
宮崎市郡内科医会 学術講演会 4月10日(水) 19:30～20:30 MRT-micc	実地臨床での酸分泌抑制療法 －GERDからDOACまで－ 順天堂大学医学部 消化器内科 教授 永原 章仁	52 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
佐土原地区医師会 学術講演会 4月11日(木) 19:00~20:10 シーガイアコンベンションセンター	病態から考える2型糖尿病治療 ー世界のスタンダードをクリニックへー 潤和会記念病院 糖尿病・代謝内科 部長 水田 雅也	7 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※日本ペーリンガーインゲルハイム㈱ ☎0985-26-9363 日本イーライリリー㈱
第5回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 4月11日(木) 19:00~21:00 県医師会館	在宅で美味しく食べてもらうために ー摂食嚥下リハビリテーションにおける多職種連携ー みえeatデンタルクリニック 院長 清山 美恵	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
平成31年度延岡内科医会総会・学術講演会 4月12日(金) 19:00~20:30 エンシティホテル延岡	QOLから考える逆流性食道炎の治療戦略 ーボノプラザンの位置付けを考えるー 富山市立富山市民病院 内視鏡内科 部長 水野 秀城	52 (1.0)	◇主催 延岡内科医会 ◇共催 武田薬品工業㈱ 大塚製薬㈱ ◇後援 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県精神科診療所協会学術講演会 4月13日(土) 19:00~20:00 ホテルJALシティ宮崎	うつ病治療に生かす対人関係療法 十全病院 理事長 岡 敬	70 (1.0)	◇主催 宮崎県精神科診療所協会 ◇共催 大日本住友製薬㈱ (連絡先) 細見クリニック ☎0985-35-1100
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 4月15日(月) 18:50~20:30 ガーデンベルズ小林	その患者さん、ただの不眠症だと思いませんか？ 長嶺南クリニック 副院長 北 英二郎	20 (1.0) 69 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 MSD㈱

名称・日時・場所	演 題	CC (単位 がん検診)	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
延岡心臓病カンファレンス 4月16日(火) 19:00~21:00 県立延岡病院	急性下壁心筋梗塞後に心室中隔穿孔を起こした症例 VSP- 宮崎県立延岡病院 循環器内科 医長 日下 裕章	45 (0.5)	◇主催 延岡心臓病カンファレンス ◇共催 フクダ電子(株) グッドウィル(株) ◇後援 延岡市医師会 (連絡先) 宮崎県立延岡病院 ☎0982-32-6181
	(SICD) 皮下植込型除細動器について 宮崎県立延岡病院 循環器内科 部長 山本 展誉	11 (0.5)	
	アントラサイクリン系薬剤による拡張型心筋症について 宮崎県立延岡病院 循環器内科 副医長 小牧 聡一	7 (0.5)	
	ピロリン酸心筋シンテグラフィーで心アミロイドーシスの診断に至った症例 宮崎県立延岡病院 循環器内科 副医長 丸目 恭平	73 (0.5)	
延岡医師漢方研究会講演会 4月17日(水) 19:00~20:00 延岡市医師会病院	漢方薬を循環器診療に役立てる 大分大学医学部 医学教育センター 教授 中川 幹子	43 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 延岡医師漢方研究会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 (株)ツムラ ◇後援 ※延岡市医師会 ☎0982-21-1300
南那珂医師会生涯教育医学会 4月18日(木) 19:00~20:00 南那珂医師会館	2型糖尿病治療に新たな歴史を刻む -SGLT2阻害薬の新しいエビデンスのレビューと解釈- 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 アストラゼネカ(株) 小野薬品工業(株)
第39回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会 4月20日(土) 18:00~19:15 宮崎観光ホテル 参加費:500円	神経障害性疼痛の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 病院講師 濱中 秀昭	62 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710

名称・日時・場所	演 題	CC (単位 がん検診)	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県内科医会総 会学術講演会 5月11日(土) 17:25~18:40 県医師会館	高TG血症の臨床的意義と治療 -SPPARM α への期待- りんくう総合医療センター 病院長 大阪大学医学系研究科 総合地域医療学寄附講座・循環器内科学 特任教授 山下 静也	75 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 興和創薬(株) (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県皮膚科医会 学術講演会-アト ピー性皮膚炎治療 の新たな展望- 5月16日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	アトピー性皮膚炎における生物学的製剤の使用経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野 医員 西川 陽太郎	7 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎0120-852-297
	アトピー性皮膚炎の痒みと疾病負荷 長崎大学 医歯薬学総合研究科皮膚病態学 教授 室田 浩之	8 (0.5) 26 (0.5)	
第184回宮崎県眼 科医会講習会 5月18日(土) 16:00~18:30 JA-AZMホール 参加費:3,000円	眼底疾患(仮) おおつか杉田眼科 杉田 新	36 (1.5)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015
	黄斑変性症について(仮) 宮崎中央眼科病院 直井 信久	36 (1.0)	
延岡医学会学術講 演会 6月28日(金) 18:50~20:30 エンシティホテル 延岡	モテる! 上部消化管内視鏡診断 -通常・IEE観察の極意- 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 准教授 野中 康一	7 (0.5) 9 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県北地区消化器 内視鏡懇談会 EAファーマ(株) エーザイ(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ

僧帽弁逆流症に対する新たなカテーテル治療
～MitraClipによる経皮的僧帽弁接合不全修復術～

宮崎市郡医師会病院心臓病センター 循環器内科 医長 木村俊之

はじめに

今からおおよそ10年前、当時循環器内科の後期研修医だった自分は、ひとりの心不全患者を担当しました。疾患は重症大動脈弁狭窄症—高齢のため手術は適応とならず、最善を尽くしましたが、重症大動脈弁狭窄症の前にはいかなる薬物治療も無力で、救命は叶いませんでした。今、同じく高齢の重症大動脈弁狭窄症患者が、TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation ; 経カテーテル的大動脈弁置換術) を受けて、元気に独歩退院されていく姿をみて、医療の世界においてはまさに十年一昔であることを切に実感します。

重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲カテーテル治療であるTAVIが本邦に導入されたのが、今から5年前の2013年10月。以降、その症例数は急速な拡大をみせており、今後もエビデンスの確立とデバイスの進化によって、その適応はますます拡大されていくと思われま

す。そしてついに、MitraClipの導入により、僧帽弁逆流症 (Mitral regurgitation ; MR) に対しても低侵襲のカテーテル治療が行えるようになりました。

MitraClip (マイトラクリップ) とは

MRに対するカテーテル治療は全世界で約50種類ものデバイスが開発中ですが、僧帽弁は大動脈弁よりも構造が複雑であるため、TAVIと同じような人工弁置換デバイスは、まだそのいくつかは欧米で使用可能になっているに過ぎません。そんな中、MitraClipは全世界で7万例以上の豊富な実績を有するリーディングデバイスであり、2018年4月に日本でも保険償還となりました。

MitraClip (図1) は、外科手術であるAlfieri手術をカテーテルで再現しようというコンセプトの治療です。Alfieri手術は、1991年にイタリアの心臓外科医であるAlfieriが考案した僧帽弁形成術の術式で、僧帽弁逆流発生部の前尖と後尖を縫合し、二口の僧帽弁口を形成することで、MRを改善させる方法です。MitraClipではカテーテルによって誘導したクリップを用いて、僧帽弁前尖・後尖を架橋させます (図2)。治療は外科手術同様に全身麻酔下で行うものの、開胸や人工心肺を必要としません。さらには大腿静脈アプローチの手技であるため、動脈アプローチの手技と比較して、血管合併症や脳卒中のリスクが低いといったメリットがあります。現在の我が国におけるMitraClipの適応は、①十分な内科的治療下でも症状を有する②慢性心不全患者で、③高度MRを有し、④外科手術が困難な患者、とされています。

心不全におけるMRの重要性

“Af begets Af” といった言葉があります。心房細動 (Atrial fibrillation ; Af) による心房興奮頻度の増加が、心房筋の不応期短縮や伝導性低下をもたらすことで、リエントリー発生が促され、AfがAfを生む状況を指します。同様に、MRは左室への容量負荷による心機能低下から心不全 (HF ; heart failure) 増悪を招くと同時に、心機能低下・心不全増悪による左室拡大が僧帽弁接合不全を来し、さらなるMR増悪をきたします。言うなれば、“MR begets HF, and HF begets MR.” といった負のサイクルを形成することで、病態はより複雑化し、治療も困難となります。この負のサイクルを断ち切ることで、心不全増悪を抑制することこそが、

MitraClipに最も期待される効果であり、その低侵襲性から今後到来する心不全パンデミック時代の重要な治療オプションの一つと考えられています。

MitraClipの治療成績とエビデンス

ここでは、特に重要な2つの大規模臨床試験の結果を紹介します。

1. EVEREST II試験

MitraClipは2003年にFirst-in-manが行われ、2005年から2008年に症例が登録されたEVEREST II試験の結果により、米国でのFDA承認となりました。本試験はMitraClipと僧帽弁外科手術とのRandomized比較試験（MitraClip184例、僧帽弁外科手術95例）です。治療後12か月の時点で、全死亡は両群とも6%と同等で、心不全症状（NYHAクラス）やQOLの改善も両群間で同等でした。一方で、術後12か月時点での中等度を超えるMR（MR \geq 3+）の割合は、僧帽弁外科手術の4%に対し、MitraClip群では19%と有意に高く、MRの改善効果という点ではMitraClipは僧帽弁外科手術に劣る結果となりました。しかし、術後30日以内の有害事象はMitraClip群で有意に少なく、“MRの減少効果では外科手術に劣るが、MitraClipは外科手術と比較して安全性に優れ、外科手術と同等の臨床的改善をもたらす”、とまとめられています。

2. COAPT試験

COAPT試験は、2012年から2017年に北米で症例登録された、心機能が低下し、中等度を超える（MR \geq 3+）機能性MRを有する心不全患者を対象とした、MitraClip+薬物療法（デバイス群）と薬物療法単独（=コントロール群）とのRandomized比較試験（デバイス群302例、コントロール群312例）です。昨年その結果が発表されましたが、治療後24か月以内の心不全再入院はデバイス群で35.8%/人年、コントロール群で67.9%/人年、また治療24か月後における全死亡はデバイス群で29.1%、コントロール群で46.1%といずれもデバイス群で有意に低い結果となりました。心不全症状（NYHAクラス）、MR重症度、QOLの改善もデバイス群で有意に良好な結果であり、

“MitraClipは安全であり、薬物療法のみと比較して死亡、心不全による入院リスクの低下をもたらす”と結論付けられています。

今後の展望

MitraClipは昨年4月の国内導入以降、現在までに国内約40施設において、500例以上のMR患者に対して行われ、急性期手技成功率90%以上の良好な成績を残しています。これまでも多くの研究で、機能性MRは軽度であっても心不全患者の予後に影響を与えることが示されていましたが、一方で高齢であることや、左室機能低下、併存疾患による手術リスクから、およそ半数の患者では外科的治療が選択されてこなかった現状があります。世界に先駆けて高齢社会が進行している我が国においてこそ、MitraClipのような低侵襲治療の普及が必要であり、今後日本人におけるデータが蓄積されていくことを期待したいと思います。

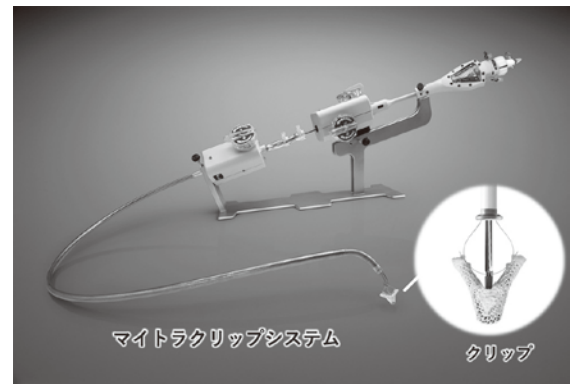


図1 ミトラクリップシステムデバイスの全体像



図2 クリップによる僧帽弁前尖・後尖の架橋

宮大医学部学生のページ

国試対策委員会の活動と第113回医師国家試験について

宮崎大学医学部医学科5年

から さわ まさ よし いずみ ま い
唐 澤 賢 祥・泉 摩 依
やま もと ま ゆ ま おち ひろ き
山 本 麻 由・馬 瀧 大 輝

今年度国試対策委員会で役員を務めました、唐澤、泉、山本、馬瀧と申します。この場をお借りして、私たちの活動と今年度の医師国家試験について報告させていただきます。

国試対策委員会は国家試験を控えた6年生をサポートするための組織で、医学科3～5年生から4名ずつ、計12名の学生で構成されます。国家試験期間中の受験生への支援としては、試験地である福岡県までの航空機や宿泊先を手配したり、ホテル内に自習室を設置したり、委員会本部を設けて情報提供や卓上ライトの貸出等を行っています。当日には会場との往復バスで受験生を案内するほか、昼食やお菓子等の配布も行います。また、大学から先生方にも同行していただいております。このように受験生が安心して試験へ向かうことができるようにするための支援が私たちの最大の任務ですが、ほかに予備校等が提供するビデオ講座や模試受験の申込みの受付、教材配布や模試監督、またそれらに係る会計の管理も、年間を通じて行っています。適宜受験生にアンケートをとり、その結果等を参考により良質で円滑な事業が行えるよう検討と準備に努めているところです。

その第113回医師国家試験が、去る2月9日～10日において施行されました。宮崎大学からも123名が受験しました。試験日程が3日間

から2日間へ、問題数が500問から400問へとそれぞれ減じた前回(第112回)と形式は変わっておりません。しかし2日間で約14時間を要す、過酷な試験であったことが推察されます。

第112回から減じられた100問分は、単純な知識を問う一般問題からの削減でした。4年次に実施される全国共用試験(CBT試験)がその部分の役割を担うこととなり、国家試験においては殊に臨床を重視する出題傾向が定着しつつあります。過去問の学習で解答できる問題だけでなく、実臨床に即した新作問題が加わり、日頃の実習もより結果に反映される試験となっています。

このような傾向や宮崎大学の過去の結果を踏まえて、受験生は個人での学習や自習室を活用してのグループ学習だけでなく、大学によるその他の学習機会も組み合わせることで国家試験までの歩を進めてきました。具体的には、実習、Post-CC OSCE(臨床実習後客観的臨床能力試験)、卒業試験、直前レビュー講義等が含まれます。特に、Post-CC OSCEに際しては学内のシミュレーターが開放され、個々でまたはグループで思い思いに診療手技を確認する様子が見られました。レビュー講義にあたっては、本年度は主催してくださる医療人育成支援センターの先生方と6年生を含む国対委員との話し合いの場が持たれるようになり、予め学生の声も伝わるようになりました。また、大学および

篠懸会からは模擬試験の受験料の補助があり、これらの模試に関しては教室での一斉受験を推奨しました。本年度は一斉受験での受験者が多く、緊張した時間配分と空気の中で、新傾向問題を含む各社の模擬試験にふれる一つの機会になったものと考えます。

本年度を含む、過去5か年の宮崎大学の医師国家試験合格者を表に示します。国家試験が大きく変化する中において受験生各人が努力しました。ただし、全体の数値としての結果としては、前述のような健闘にかかわらず、全国合格率や従前の合格率に満たない結果となりました。試験直後の声として、昨年よりも難しかった、必修問題が特に難しくなった、といったものが目立っていた印象も確かに感じるどころであります。

表 宮崎大学の合格率（厚生労働省発表による）

	第113回 (今回)	第112回	第111回	第110回	第109回
総数	83.7%	87.2%	87.7%	90.2%	87.2%
新卒生のみ	85.2%	89.2%	94.2%	95.8%	91.1%
既卒生のみ	73.3%	69.2%	27.3%	56.3%	53.8%
全国合格率	89.0%	90.1%	88.7%	91.5%	91.2%
全国大学間順位	73位	71位	34位	31位	72位

国家試験を含め、医学部を取り巻く情勢は大きく変化しつつあります。これに含まれるあらゆる点につき、その評価は次代を待つところでしょう。しかし宮崎大学とて例外ではなく、カリキュラムは新しくなり、実習は期間が増し、進級要件として新たな試験も設けられました。ここで取り上げたものは大きな変更点のみですが、他の部分も含め、今後も変革は続いていくことでしょう。

手前味噌な話になりますが、今年度の国試対策委員会においては、なかなか目の届きにくい、手をつけにくい点に関しても、改善可能な点は手を加えることを意識しました。肥大化して全体像が捉えにくくなっていた会計は、枠組

みを根本的に見直すとともに一定の自動化を図りました。6年生の負担を軽減すべく、4回あった説明会は内容を再検討して3回へ減らし、国家試験のしおりは情報の選択と配列に注意して再設計しました。九州・山口12大学の国試対策委員の年2回の会合は、必要なテーマの議論がしっかりできる場となるよう、本当に集まって話し合うべき話題は何であり、いかに準備し還元していくか、といった点を含めて発議の上、長崎・琉球の両大学とともに方向付への先鋒を担いました。昼食の業者の選定、模試の安定した開催、円滑な集金・返金、チェックイン時のメッセージ封入、案内の文面、ほか細かな点も丁寧に扱う意識を持ちました。

これらができたことには、優秀な仲間がいたことはもちろんですが、大きな変革の真っ只中で、ある意味で「都合のよい」時期であったことが大きいものです。チャンスとしても捉えたいところでした。

国試対策委員会の事業は、おかげさまで例年概ね高い評価を得ています。ただし、本来的な国試「対策」に関しては悔いの残るところであり、本年度、定期的な教材作成と提供を一部開始するなどしましたが、道半ばであります。大局を捉えながら、そうした試行や大学等との意見交換を進め、さらに効果的な支援・対策を模索することも、今後の役割の一つであるでしょう。すでに後輩らがこのあたりのアイデアも出し始めてくれているようで、筆者としても実に嬉しく、楽しみであります。

こうした「変革」も含め、まさに、その評価は次代と、そしてご意見を待つところです。年度中は多くの先生方、関係の皆さま、そして受験生にお世話になりました。つきましては、皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の確認等の徹底について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・共済組合員証の無効通知について ・風しんの追加的対策について ・医療機関における風しんの抗体検査の実施について
2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法人の設立等認可に係る医療審議会の開催時期等について ・医薬品の確認等の徹底について ・「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の周知について ・シアン化カリウムに関する情報提供及び状況確認について
2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金（介護分）の平成30年度内示（第2回目）並びに平成31年度予算案の概要及びメニューの充実等について ・在宅医療の充実に向けた取組の進め方について ・介護医療院の開設状況（平成30年12月31日時点）および介護医療院開設に向けた研修会開催のご案内について ・法務省による特定技能（新たな外国人材受入れ制度）に関する説明会のご案内について ・平成31年度の地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等について（10連休における医療提供体制の確保） ・本年4月27日から5月6日までの10連休における医療提供体制の確保に関する対応について（消防庁通知） ・改元に伴う情報システム改修等への対応について ・検査料の点数の取扱いについて
2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月以降の東日本大震災による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて ・2019年度日本医師会「医療安全推進者養成講座」の受講者募集について ・平成30年度家族計画・母体保護法指導者講習会伝達講習会（母体保護法指定医師研修会）の開催について ・平成30年度沖縄県医師会母体保護法指定医師研修会の開催について
2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・蚊媒介感染症の診療ガイドラインについて ・A型肝炎患者の報告数増加に係る対応について ・東京オリンピック・パラリンピック開催期間中等の「ホテル ONLINE 予約サービス」について
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・病院におけるアスベスト（石綿）対策に係る指導の徹底及びアスベスト（石綿）使用実態調査に係るフォローアップ調査の実施について ・天皇陛下御在位三十年記念式典当日における祝意奉表について ・県民公開講座「最新情報をふまえた犬猫のてげ！いい食事のはなし」の開催について ・法務省による特定技能（新たな外国人材受入れ制度）に関する説明会のご案内について ・東日本大震災により被災した被保険者の利用者負担等の減免措置に対する財政支援の延長等について ・平成30年度介護報酬改定に係るQ & Aのご案内について（平成31年2月5日付）

送付日	文 書 名
2月19日	・消費税の軽減税率制度の広報・周知等への協力について
2月20日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害医療コーディネーター活動要領」及び「災害時小児周産期リエゾン活動要領」について ・麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の流通に係る対応について ・NBCR対策推進機構 第4回「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会の開催について ・麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について ・「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その11）」の送付について
2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度日本医師会生涯教育制度について ・医療事故の再発防止に向けた提言第7号の公表について ・平成30年7月豪雨により被災した被保険者に対する一部負担金に関する取扱いについて
2月26日	・平成30年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準等の取扱いについて
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度介護報酬等改定に関する社会保障審議会介護給付費分科会の諮問等の送付について ・平成31年度地域医療介護総合確保基金（医療分）について
2月28日	・2018年度日本医師会生涯教育制度の申告に当たっての生涯教育申告の取りまとめ等のお願いについて
3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・再生医療等提供計画等の記載要領等の改訂について ・平成30年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準等の取扱いの周知について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第19回報告書」の周知について ・医療事故の再発防止に向けた提言第7号の公表について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.147」の提供について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・感染症法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について ・子ども予防接種週間の実施についての厚生労働省通知について ・ホストタウン自治体とのアンチ・ドーピング等に関する連携・協力について ・改元に伴う情報システム改修等への対応について ・学校保健における運動器検診時に保護者へ配付する調査票に同封いただきたいパンフレット「運動器検診とロコモ」について
3月4日	・4月27日から5月6日までの10連休における病院の開院状況等について
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の健康週間」の普及・啓発ポスターの送付について ・「いい医療の日（11月1日）」ロゴマーク募集について周知協力のお願い ・平成30年度九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップの開催結果について ・死体解剖保存法施行規則の一部を改正する省令の施行について ・がん患者に係る要介護認定等の申請に当たっての特定疾病の記載等について ・平成30年度在宅人工呼吸器使用者非常用電源設備事業の実施について
3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本准看護師連絡協議会 平成31年度会員募集等にかかるご協力のお願い ・ヒト体性幹細胞加工製品（ステミラック注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・ゴナールエフ皮下注用75、同皮下注用150、同皮下注ペン300、同皮下注ペン450及び同皮下注ペン900の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・セリチニブ製剤の医薬品医療機器法上の用法及び用量の一部変更について ・移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律等の施行について

あとかき



中高6年間、残りの半数は附属小から12年間も一緒に過ごしてきた仲です。制服が泥で汚れているのにも気づかないほど夢中で遊び、臨海学校では禪で遠泳をし、部活に入っては毎日のようにテニスをし、大学受験が近づくと偏差値を競い、進路を語り合いました。そのせいか、久しぶりに会って少し雰囲気が変わっていても、話し始めれば昔と変わらず、非常に盛り上がりました。さて、このようにふと数か月前の冬を思い出したのは、この号が発刊される頃には同級生は就職して働きだし、私は5年生になるのだなとしみじみと思ったためです。この4月からは、広報委員会で先生方にお世話になるのも2年目、大学では毎日の実習で学び、国試対策委員として6年生のサポートをしつつ、自身も国試にむけた対策を始めなければという少々忙しい1年間になりそうです。それでも、働き始めた同級生をたまには思い出しつつ、私も頑張りたいと思います。先生方、今年度もよろしくお願いたします。(伊澤)

入試の合格発表の時期です。同世代の友人に受験生の親が多く、多少顔見知りであったりするとひと事ながらドキドキしたりします。周囲に驚くほど優秀な子が多く、うちの娘はまだ5歳ですが、日頃どういう教育をしていたのかヒアリングしなければと、妻とともに画策しています。K先生、O先生はじめ皆様、ご指導ご鞭撻の程をよろしくお願いたします。(稲倉)

今、当院では開院40周年の記念冊子を作成中です。先日出来上がったグラ原稿を読ませてもらった、さらっと読んでみただけなのに、誤字脱字、行頭のずれ、半角と全角の括弧の混在、フォントサイズの違い等を簡単に見つけてしまう自分がいました。日州医事の校正を8年間続けてきた成果がここにきてやっと開花したようです。この8年の修行はこのためにあったのでしょうか。(沖田)

花粉症のある方は、鼻づまりで寝苦しくなったり、四六時中、鼻をすすったりと大変だ。お子さんにも花粉症の方がいらっしゃり、薬が必要になってくる。私にはアレルギーが何もなく、両親に感謝している。そういえば昔、とある病院の看護師さんに、「私、ヒトアレルギー(?)なんですけど、アレルギーの検査にはヒトって項目はありませんよね?」と冗談交りに言われたことがある。その後ヒトに対する免疫はできたのだろうか?(山崎)

昨年末、厚労省部会にて遺伝子パネル検査が了承され、今年中には保険診療で遺伝子パネル検査が受けられるようになる。つい数年前には、ゲノム医療

少し時を遡ります。今年は冬休み明けに試験がなかったため、家族で行った台湾で年始を迎えました。日本の放送局では各地の寺社での様子を中継している一方、台湾の局は中心部での豪華な花火をド派手なパフォーマンスとともに中継していて、これが文化の違いかと思ったのを覚えています。そして帰国してからは、東京で中高の同窓会に出席してきました。半数は

はもっと先の話と想っていたが、日本のがんゲノム医療の幕開けがすぐそこまで来ている。今のところ、標準治療を終えた症例が対象となっているが、将来的には予防医療などの分野にも広がるのが予想される。「がんの根絶」が少し見えてきたかもしれない。(植田)

最近、無理なく続けられて身体を動かせるような趣味を持ちたいと思いヨガを始めました。DVDを見ながら家でやっていたのですが、一段と楽しめるようになったきっかけは田野町で行われていた「寺ヨガ」。月に一度、荘厳な雰囲気のあるお寺で10~20名ほどが集まり、インストラクターの指導のもとでゆったりとヨガを行います。一人のヨガもよいですが、複数の人と空気を共有する雰囲気や先生のアロマを使ったストレッチが心地よく感じ楽しくなりました。ヨガでの瞑想や呼吸は日頃あたふたしている自分の心を落ち着けてくれます。宮崎駅近くで同じ先生が開講されているヨガレッスンにもたまに行くようになりました。これからも楽しみながら続けていきたいと思います。(泉)

先日、九州地区の医師国保組合の協議会があり、2つの県から年間数千万円の高額レセプトの発生があったとの報告がありました。いずれも小児の希少疾患にかかわるものでした。県単位で運営される医師国保組合の規模にとって、高額な医療費の負担は重いといえます。全医連は日医や医系国会議員に何らかの対策が必要な旨を申し入れているとのことでした。(佐々木)

今 月 の ト ピ ッ ク ス

宮大医学部学生のページ 国試対策委員会の活動と第113回医師国家試験について

国試を受けてから20年以上が経ちます。当時は国試対策委員会などなく、仲間内で宿を取って、車を運転して行ったと記憶しています。食事や宿だけでなく日頃の教材や模試の手配まで行っているとは驚きでした。委員の皆さん、ご苦労様でした。

46ページ

メディアの目 忘れられない少年のこと

「忘れられない少年」の話、彼の勇気と優しさ、行動力に涙が出そうになりました。東日本大震災から8年、その後も各地で地震、洪水等の災害は頻発しています。その時、何ができるか、そしてどう動くか、真剣に考えるきっかけにしたいと思います。

10ページ

診療メモ 僧帽弁逆流症に対する新たなカテーテル治療 ～MitraClipによる経皮的僧帽弁接合不全修復術～

僧帽弁逆流症に対するMitraClipによる新しいカテーテル治療について、宮崎市郡医師会病院の木村俊之先生にわかりやすく解説していただきました。国内トップレベルの心臓病センターの存在は県民にとって大変心強い存在です。

44ページ

日 州 医 事 第836号(平成31年4月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也, 野村 勝政

委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一

学 生 委 員 二見 旬祐, 泉 摩依, 伊澤 和範, 土持 友香

担当副会長 山村 善教・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)